

2010・2011年度教研研究テーマ

イエスの生き方に倣う
キリスト教学校

→これからの同盟100年に向けて→

キリスト教学校教育 12

http://www.k-doumei.or.jp/ E-mail info@k-doumei.or.jp

キリスト教学校教育同盟
〒169-8509 東京都新宿区西早稲田2-3-18-72
電話 03(3203)0361
FAX 03(3203)0362
理事長 佐藤東洋士 齊
編集人 鈴木 齊
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)



「はじめてのクリスマス」 広島三育学院大和小学校2年 平田良香

佐藤新理事長



2011年度第5回常任理事会、第2回維持財団評議員会と第2回理事会が11月11日(金)、東京・女子聖学院で開催され、理事会で佐藤東洋士氏(桜美林学園理事長・桜美林大学学長、同盟総務担当常任理事)を新理事長に選任した。

これは、野本真也前理事長が10月29日に開催された学校法人同志社の理事会において任期満了で同志社理事長を退任した

第53回学校代表者協議会開催される



第53回学校代表者協議会が11月12日(土)午前10時から午後4時30分まで、東京の香蘭女学校で、東京の香蘭女学校で、

開催され、61法人から約120人が参加した。主

題は「東日本大震災から何を学ぶかーリスク・マ

イアキャン」のプレゼ

新理事長に佐藤東洋士氏

ことに伴い、同盟理事長を辞任したため、佐藤新理事長就任日は

10月29日に通り、任期は13年の総会までとなる。また、同理事会では新

たに公文氏(女子聖学院理事長)を総務担当常任

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

理事に選任した。

あまなく世を照らす光を
―被災地に足を運ぼう―

酒井 玲子

今、9か月を過ぎて、地震と津波と原発事故の様相が少しずつ明らかになり、避難所から仮設住宅へ、仕事場の再開などの変化が見られます。しかし、人々の

あの大惨事を機にこれまでの生き方を問い、価値観が変わったという声が多々聞かれますが、これは「脱

した。チャペルでの報告会が彼らは、大した役に立てたかどうかかわらないと語りつつも、被災者の話を聞

を問い、「苦悩も業績」

「北星学園学園長、同盟理事」

「北星学園学園長、同盟理事」

「北星学園学園長、同盟理事」

「北星学園学園長、同盟理事」

「北星学園学園長、同盟理事」

「北星学園学園長、同盟理事」

まもなく主の「降誕の喜ばしい日を迎えます。今年度はあの3月11日の東日本大震災の被災者支援からスタートしました。6月2日、仙台駅に降り立つた時は何も無かったように賑わう光景を目にしたが、名取市の閉上(ゆりあげ)地区、そしてその数ヶ月後の山元町、東松島市でも目を覆うばかりの惨状でした。

命が失われ、傷つき、仕事場が奪われ、放射能に汚染された悲しみと苦痛、怒りはなお深刻な状況を呈しておりま

原発に観望し匹敵するかも知れませんが、大学から派遣に回って学生ボランティアを被災地に派遣しま

宮城学院女子大学の新聞「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。宮城学院女子大学の新聞「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。



福万広信

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生かされるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました」

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生かされるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました」

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生かされるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました」

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生かされるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました」

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生かされるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました」

- <12月号目次>
- ▶第6回全国聖書科研究集会 <2面>
 - ▶公募 <2面>
 - ▶関西地区新人教師研修会 <3面>
 - ▶東北・北海道地区教研会中高部会 <4面>
 - ▶東北・北海道地区教研会中高部会 <4面>
 - ▶わが校のワンポイントアピール <4面>
 - ▶ハイノちろQ&A箱 <4面>

加盟校動静

- <総会・研究集会等>
- (※印は同盟HPより開催要項、参加申込書を取り出せます)
 - 1/27~28 第54回小学校代表者研修会*
 - 3/27~29 第53回中高研究集会
 - 2012年度予定
 - 6/8、9 第100回同盟総会 明治学院(白金)
 - 6/23 第57回小学校教職員協議会 横浜英和小学校
 - 11/10 第54回学校代表者協議会 東京キリスト教学園(千葉県印西市)
 - <11月の委員会・会議等>
 - (場所の記載のないものは同盟事務局で開催)
 - 11/11 第5回同盟・維持財団常任理事会 女子聖学院
 - 11/11 第2回維持財団評議員会 女子聖学院
 - 11/11 第2回同盟・維持財団理事会 女子聖学院
 - 11/11 新聞Q&A執筆担当者会議 鎮西学院本部棟会議室
 - 11/26 新聞Q&A次期執筆担当者会議 桜美林大学四谷キャンパス
- 各地区協議会主催の行事は総会の各協議会をご覧ください。

9月30日付で大平良治氏が短期大学学長を退任、後任に狩野俊郎氏が10月1日付で就任。フェリス学院理事、神戸女学院院長の閉会折衝で終了した。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

「あまなく世を照らす光」の掛声の前に、被災者の心を思いやり、ともに涙を流す時が必要、と語られました。

新人教師研修会

次に大阪女学院中学校・高等学校の井上正人先

め発表しました。教科、授業、クラブ経営など対生徒に關するものが圧倒的に多く、ベランの先生方は学校の経営や施設、教員同士の人間関係、私生活の切實など、新人教師では思い至らない学校全体、教育全体の視点から提起し、視野の狭さを指摘して下さいました。夕食は新人研修会初の鍋料理ということもあり、お互いに声を掛けるうち楽しいひと時となり、授業や部活など様々な情報交換の場となりました。

最後のセッションでは円形に座り、まとめの時間として方がこの24時間での学んだ事を発表します。更にアール学院中学校・高等学校の杉山修一先生より、一人ずつを各学校へ教師として派遣する「任命式」が行われました。それは「イエスの生涯、つまり聖書の言葉を軸に努力と忍耐を以て使命を遂げる生き方」がキリスト、各学校に勧め

松島市鳴鶴川河口、及び野蒜（のびる）駅周辺（了）R仙石線を訪れました（写真）。3月の震災で甚大な被害を受けた地域です。津波により土台しか残っていない家、そこに置かれた花束、崩れかかった家、陸地に打ち上げられたままの船、震災以降停車したままの列車、「復興」とはほど遠い現状、それがその地域の全てでした。

その後、卒業したばかりの生徒や入学予定者が犠牲になった東北学院中

ました。聖
遺愛女子中
校の鳴海と
愛の歴史と
をもとに「
大切さをお
した。教育
では、キリ
の礼拝や課
また、授業
中卒者減に
われました。

[illegible]

城麩作氏。

最後になりますが、震災で学校が被害を受け、多忙の中、この研究集会のために会場を提供し、プログラムを組んでくださった宮城学院の皆様には、深く感謝申し上げます。

安達正希
〈弘前学院聖愛中学校・高等学校宗教主任〉

先生。この二人をお招きして、キリスト者がこの大震災を通じて何を考え、何を伝えるべきかを

ただ、私たちは寄り添うことが大切なことと分かっていたても、それがなかなか出来ないのであります。その重荷を背負って下さる神様がおられるのだと証しするのが、キリスト教学校の役割だと語られました。

高木先生は、神はどいにおられるのかという問いに対し、やさしい言葉を使ってお話をして下さいました。

私たちは今回のような大きな災害に遭つと、神のレベルを人間の理解で

カデミー関西セミナーハ
ウスへと集まりました。
まず、参加者とスタッ
フを含め全員の自己紹介
です。用紙に名前、教科
をはじめ「学生時代」
〔動物（植物）に例える
なら〕「十年後の色」な
どを書き入れ発表するの
ですが、どんなにも淀みな
く各キーワードを関連付
け出しカテゴリー毎にまと

厳しさとは「家庭と仕
事の両立」「価値観の違
う保護者の相互理解」
など教師として避けては
通れない六つの問題が提
起されます。その後のグ
ルプワークでは、教師
になって良かった事、困
っている事を付箋に書き
出しカテゴリー毎にまと



二日目も日礼拝に始まり、昨日同様にクルーズに分かれた話し合いです。テーマは様々ですが、私の加したグループでは「退学制度」と「フライベートの確保」という二つを軸に話し合いました。特に「退学制度」については賛否が分かれ様々な観念から意見が出されます。その中で「中学高校時代のみならず、生徒の（の）後の人生にも隣人として寄り添うことが重要なのだ」という強いメッセージになる教師の在り方なのだと、この研修会の核となる。「教師の構え」を行動を以て示して下さいました。

最後になりましたが、アドバサラーの先生方ははじめる方々のご協力を得て、充実した学びの時を持つことが出来ました。心より感謝申し上げます。

田畑あゆみ
〈広島学院中学校・高等学校教諭

「エスの生き方に就く」キリスト教学校。これからこの同盟の10年に向けての、副題は「キリスト教教育の命と課題」の会場は宮城学院中学校・高等学校と仙台国際ホテルでした。

一日目に行われた主題講演は「リスボン災厄、阪神・淡路大震災、そして東日本大震災・破局の中における教育の力」との題で、講演者は新免貫先生（宮城学院女子大学教授。1995年1月

「学校教育現場は、いのち」を保持して種々職員の協同して生徒たちや学生たちを導く場として機能しなくてはならない」と、また「学校は人間の商品化の行われ場ではない」とリスボン大地震で東日本震災を通して「安心して暮らせる社会の土台定か」にして作るか、キリスト教教育は「状況向かって何を語らせるのか」を話し下さい

学校・高等学校に伺い、校舎の被害も見せていただきました。悲しみ、悩み、先の見えな不安の中にいる方々のことを覚えて、祈り続けることの大切さ、共感と共苦の大切さを感じました。

学校報告は二日に分けて計五校が行いました。

高等学校として初の森三愛高、専門学校と新しいコース制（2010年度より）について（藤島浩三氏）、北星学園余市高等学校は「放送局による映像作品

キリッ
第9回

カトリック
タント諸学
リスト教学
第9回の公
10月15日
から、大阪
ブルー学
等学校に
30人の方
した。

当懇談会
年に第1回

入ト教学学校教育懇談会
公開講演会大阪で開催

シとプロテス 講師にお迎えしました。

一人は金城学院院长・
大学学長で、淀川キリス
ト教病院名誉ホスピス長
の柏木哲夫先生。もうひと
方は、上智大学特任教
授で上智大学グリーンフケ
ア研究所所長の高木慶子

院中学校・高
開かれ、約3
が出席されま

午午後2時半
開講演会が、
校教育懇談会
校による、キ
校により、

は、2004
が開かれてか

語っていたきました。

柏木先生は、医師のお立場から、災害時の救急医療ではまず技術力、すなわち上からの力が要求されるのだと。そして災害後の医療では、人間として下から支えることが必要となり、そこから寄り添うこと、すなわち横からの関係が必要となるのだと言われました。



きるレベルに引き下げようとするが、それは愚かなことである」と。

確かに私たちは何らかの形で、自分の心を納得させてやろうとします。しかしそれは天地万物を創られた神を、人間の側の物差しで計ることなのだと言われました。

講演会の後、カトリック・プロテスタント両学校によって作成された、被災者への「共同の祈り」の説明がありました。「小学生版」「中高

教研集会中高部会

東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台で、2011年度東北・北海道地区教育研究集会中高部会が、10月20日から22日にかけて行われました。東北・北海道地区に加盟する全法人（12法人）の金学校15校から約40名が参加しました。主題は

一大学教員、宗教者、市民として、教育の力について講演をされました。この講演のために、計約20ページにわたる資料を用意して下さいました。

局の中で『共感と共苦』が教育の力である「こと」を話されました。講演の間中、はっとさせられることの連続でした。

二日目の午後には、東

等学校は「礼拝と聖書」について（西間木順氏）報告しました。

うな災害にも
中にある人々
うに向き合
が、つまり
ア」に専門
でおられる

呼木 梓
呼木 梓

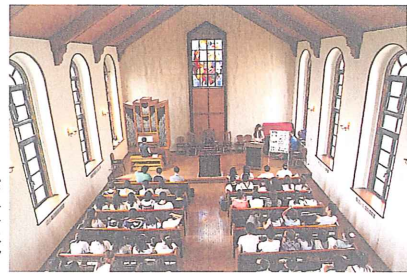
つつ、閉会となりました。
井上進次
へブル学院中学校・高等学校チャプレン
〔共同の祈り〕は1月号で紹介します



校教育懇談会
と会大阪で開催
講師にお迎えしました。
一人は金城学院院长・
大学学長で、淀川キリス
ト教病院名譽ホスピス長
の柏木哲夫先生。もうひと
方は、上智大学特任教
授で上智大学グリーンフ
ェア研究所所長の高木慶子

わが校のワンポイントアピール

日本の保育の基礎を築いた頌栄



ハウチャペル

頌栄保育学院は、1889年10月に頌栄保母伝習所が、11月に頌栄幼稚園が開校し、以来伝習所が頌栄保育専攻学校、頌栄短期大学と名称を変更し、頌栄幼稚園と共に今日に至っている。1991年〜2009年まで頌栄人間福祉専門学校を開校し有為な介護福祉士を育成したが、現在は保育に関わり、保育者養成一筋に歩んでいる。

保育者養成に関しては、1876年に東京女子師範学校(現お茶の水)内に保母練習科が、また1884年に桜井女学校(現女子学院)幼稚園保育科が設置されたが、その後廃止されている。頌栄保育学院は創立以来今日まで保育者養成に関わり続けており、現存する保育者養成機関としては日本最古のものである。

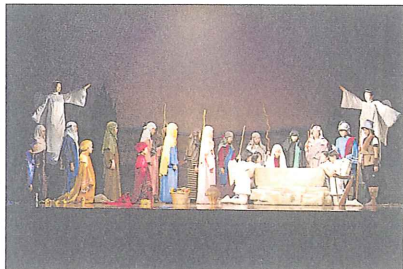
当初より2年課程のキリスト教の精神による教育を目指し、卒業生は地元神戸のみでなく、日本各地に派遣され用いられている。牧師婦人として赴いた地域で、幼稚園の創立者となった者もいる(根室・旭川・日向)。創設時の保育を担った基礎を創り上げた卒業生は多い(主任保母は頌栄からと請われた前橋清心等)。頌栄創立20年小史からみると、地元神戸を皮切りに、根室・旭川・弘前・前橋・東京・神奈川・静岡・長野・上田・京都・大阪・明石・姫路・高知・岡山・岡山・鳥取・米子・広島・下関・福岡・佐賀・宮崎・さらに台北まで遣わされ活躍している。朝鮮からの留学生も多く、母国に帰った活躍もある。キリスト教学校教育同僚会から入学生も多く、当時三つあった寮生として学んでいたが、函館・遺愛・仙台・宮城および尚金沢・北陸・名古屋・金城・大阪・ウィルミナ・頌栄女学院、神戸女

学院、松山・東雲、下関・梅光、姫路・日の本などが記録されている。当然、卒業後には地元に戻り、保育者として活躍した者であり、まさに日本の保育・幼児教育の歴史の礎を築いたのが頌栄の歴史である。

頌栄創立100年を記念してハウ記念館を建設、そのチャペルには太平洋戦争後、絵画の非許勤講師であった小嶋良平画伯によるステンドグラス「幼子イエスとヨハネ」がはめられており、慰めの空間として気品高く彩られている。なお小嶋良平先生のご両親は神戸教員であり頌栄創立に尽力された。阿部 恵

「頌栄短期大学学長」

横浜共立学園140年の歩み



クリスマス・ページェント

横浜共立学園は、米国宣教師、ブライン、ピアソン、クロスビーによって、1871年に創立された。三人の女性

初めは「アメリカン・ミッション・ホーム」と称したが、翌年に「日本婦人英学校」1875年には「共立女学校」と改称した。共立は米国婦人一致外国伝道協会の二目を記したものである。ピアソンは、1881年、横浜共立女学校後の共立女子神学校を隣接地に設立し、女性の伝道者育成に携わった。校地は、J.C.・ボーンやS.R.・フランクが聖書の和訳を行ったフランクに隣接して、その土地も後に学園が購入した。現在「新約聖書和訳記念之地」の銅像が建てられ、多くの教会関係者が見学に訪れる。ホームがキリスト教の感化を与える強力なセンターとなることを熱望していたブラインは、創立当初より校舎を開放し、キリスト教の諸教会、祈禱会を開催した。共立女学校創立60年記念のため寄稿した山本秀雄の一文がある。

「当校内の宗教的雰囲気は其の頃極めて濃厚であつて、そこで、基督教の諸教会が開催されたので私共校外のものもそれらの集會に出席して教を受けた。中略」記録によると、本校は創立以来其の講堂と客室を開放して内外基督教の集會に當て一週一回日曜の夜と水曜日夜には、外国人と内国人との二組の祈禱會がそこで開催されて

居たとの事だ。(中略)祈禱會の前三十分位讀美の歌の練習があつた。其の頃、まだ、日本語の讀み歌集がなかつたので学生等は皆英語の讀美歌を歌つたものだ。ピアソン女史がリーダーとして女生徒諸君と合唱して私共生徒に教へて下さつた。教へて下さつたと云ふよりも、むしろ、聴かして下さつたのだ。生徒諸君

「厄年」って気になりますか? 聖書・キリスト教にはない考えですが、何度か耳にすると、つい気になるものですね。30歳代になって何か壁にぶつかると、よく話題になるのが「厄年」。身体的、精神的にも変化の時。曲がり角。転職・脱サラはその時に多いらしいのです。その時期になると厄払いで不安を拭きたいと思う人も少なくないようですが、不安定な時期なのだという自分を自覚することが大切です。不安定だからこそ、自分を見つめ直すチャンス。そのまま流されたり、あるいは、違う道に逸れたりするのではなく、揺さぶられる経験をするので、改めてそれまでの生き方を見つめ直す機会とすることができるので、

確かに、自分の不安定さや揺さぶられる経験は一つの危機ですが、それはまた新たに踏み出すチャンスでもあります。大事なものは、それまでの生き方をただ捨てて新しく歩むのではなく、今まで

生き方処方箋②

30代のあなたへ



キリスト教Q&A

高山聖子

(福岡女学院中学校・高等学校聖書科教諭)

はないでしょうか。そこから、新しい生き方を見出す可能性があるように思います。

福岡女学院の創設者ジェニー・ギールは30代で母国アメリカを離れ、はるばる海を渡り、祈りながら、その知恵と勇気をもってキリスト教学校を生み出すというエネルギーを要する事業に取り組みました。同様の歴史を持つ学校も多くあることでしょう。

その後、福岡女学院では初の日本人校長(現在の院長職)となる徳永ヨシもまた37歳の若さでその任に就き、25年の長きにわたって重責を負いました。戦中、米国からの支援を絶たれ、しかも日本政府からも建学の精神であるキリスト教教育の排除、天皇中心国家への忠誠を迫られた中、彼女は内外の批判を浴びながらも、全身全霊でキリスト教教育を守り抜いたことは、勇気ある行動とし

の行き方の大切な部分を引き継ぎながら、変更すべき所は新たに変わっていく温かな批判力や学校の歴史・伝統を作っていくという意欲や自覚。そこには変えるべきことと変えてはならないことを見抜く力が求められます。変わらない希望を見続け、指し示してくれる存在がいることこそ、私たち教職員同士の支えになることでしょう。そして何より、学生・生徒たちが、安心して希望に向かって歩む原動力となるのではないのでしょうか。

30代、少しの経験と若さに期待されることがあります。巣から飛び立って、多くの人と出会い、いろんなことを吸収し、活かせる30代を過ごすことを願います。

そういえば、イエス・キリストが母の元を離れ、神の愛を宣べ伝え、多くの人を立ち上げさせたのが30歳を過ぎてからのこと。イエスの公生涯、彼もまさにこの年代だったなあ。



編集後記

居たとの事だ。(中略)祈禱會の前三十分位讀美の歌の練習があつた。其の頃、まだ、日本語の讀み歌集がなかつたので学生等は皆英語の讀美歌を歌つたものだ。ピアソン女史がリーダーとして女生徒諸君と合唱して私共生徒に教へて下さつた。教へて下さつたと云ふよりも、むしろ、聴かして下さつたのだ。生徒諸君

は朝な、夕な、毎日歌ふことを練習して居られたので、音声も、調子も、よく、なかなか立派な歌がうたった。中略」記録によると、本校は創立以来其の講堂と客室を開放して内外基督教の集會に當て一週一回日曜の夜と水曜日夜には、外国人と内国人との二組の祈禱會がそこで開催されて

がある。1907年には五場の生誕劇、現在は七景の生誕劇が毎年行われている。キリストの香りを豊かに放つ学園を目指してこれまでも歩み続けている。坂田雅雄(横浜共立学園学園長)